

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

令和4年1月21日公表

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	○		法令に基づく十分なスペースが確保されています。療育内容や活動に合わせてスペースを有効に使えるように工夫しております。	今後も療育や活動の内容、児童の個性に配慮して、空間を有効に活用してまいります。
	2	○		法令で求められた配置基準に沿って人数を配置し、かつ有資格者、専門職で対応しております。	より良い支援ができるよう、今後も児童数に応じて職員配置をし、対応してまいります。
	3	○		生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている。	事業所内でバリアフリー化が課題となる箇所が見つかった場合は、その都度対応できるようにしてまいります。階段の昇降は必ず職員が付き添い、安全に配慮してまいります。
	4	○		生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている。	今後も徹底した衛生管理に努め、その日の児童の状況や活動により、個別・集団で各部屋を使い分け、適切な環境で心地よく過ごせる空間作りを継続してまいります。
業務改善	5	○		全職員が確認できる連絡ノートや、リフレクション会議で情報共有し、業務改善に努めております。	今後もより良い支援を提供していただけるよう、その都度全職員で話し合い、業務の改善策について検討してまいります。
	6	○		年1回アンケートを実施し、そのご意見を全職員で周知・検討し、業務の改善に努めております。	今後も保護者様からいただいたご意見をもとに、より良い支援ができるように努めてまいります。
	7	○		自己評価の結果は公式 web サイトで公開しております。	今後も結果は公式 Web サイトで公開してまいります。
	8	○		現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者からの評価受審については今後の検討課題として検討してまいります。
適切な支援の提供	9	○		年間研修予定を計画し、事業所内研修を実施しております。	今後も事業所内研修を継続し、必要に応じて外部研修等にも参加し、職員の資質向上に努めてまいります。
	10	○		アセスメントを定期的実施し、児童の状況や保護者様のご意見を踏まえ適切に作成しております。	今後も保護者様のご意向を踏まえ、支援計画を作成してまいります。
	11	○		現在は基本の標準化されたアセスメントのみを実施し、適応行動の状況を把握しております。	今後必要部分は改善していき、より正確にアセスメントできるように努めてまいります。
	12	○		定期的に保護者様との面談をおこない、児童の発達状況や課題、保護者様のご意向を検討して、ガイドラインのから必要な項目を決定し、支援内容を設定し、提示しております。	今後も、保護者様のご意向を尊重し、児童にとって適切な支援内容の選択ができるように努めてまいります。
	13	○		児童発達支援計画を踏まえ、職員間で共通認識を持って支援に取り組んでおります。	今後も継続して支援計画に沿った支援に努め、気づきなどを記録に残して、情報共有に努めてまいります。
	14	○		職員間で話し合い、児童の特性や課題に応じて立案しております。	専門的な視点や意見を取り入れながら、チーム全体でより内容の濃い活動プログラムを立案してまいります。
	15	○		季節に合わせた制作・行事や集団療育も取り入れて固定化しないように工夫しております。	今後も、児童が意欲的に楽しんで取り組めるよう職員間で話し合い、固定化することがないようプログラムを検討してまいります。
	16	○		それぞれの児童に必要な支援ができるように、個別活動と、集団活動を適切に組み合わせ計画を作成しております。	今後も個別活動と集団活動をバランス良く組み合わせ、より良い支援ができるよう計画を作成してまいります。
	17	○		当日の流れや役割分担については毎朝確認し、情報共有を図っています。支援の内容については記録を確認し、気付いたことがあればすぐに話し合っております。	朝礼では細やかな内容の確認までは毎回できておらず、今後内容確認を含めた打ち合わせや役割分担を話し合っていくよう努めてまいります。
	18	○		支援終了後は送迎等で難しい面もあり、翌日朝礼の場で気付いた点や、気になるところを話し合える時間を設けられるようにしております。	今後も時間を見つけ、即日、もしくは翌日に情報共有の徹底のため話し合いの場を持ち、より良い支援に繋げてまいります。
関係機関や保護者との連携	19	○		支援経過記録には支援内容だけでなく、その日の体調面や様子、気付いた点や、気になるところを合わせて詳しく記入しています。職員間で伝え合い情報共有しております。	より分かりやすく職員間で検証、改善、情報共有し、より良い支援に繋げていくように、支援経過記録を改善してまいります。
	20	○		定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しております。	今後も定期的に計画の見直しや作成をおこなってまいります。
	21	○		児童発達支援管理責任者や対象となる児童の状況を把握している職員が参画しております。	今年度はコロナ禍でもあり、電話での対応会であったり、対面での参加はできない場合もありましたが、今後はできるだけ参加し、情報を交換し、計画や支援に活かしてまいります。
	22	○		相談支援事業所を通じて地域の必要な情報を共有しております。	障がい福祉課等の関係機関との連携を図り、良い支援ができるように努めてまいります。
	23	○		現在医療的ケアが必要な児童は在籍していません。	事業所は重症心身障害以外の児童が対象となっていることもあり、今後受け入れ希望があった場合は、慎重に検討し、受け入れ体制・事業所のあり方について模索してまいります。
	24	○		現在医療的ケアが必要な児童は在籍していません。	事業所は重症心身障害以外の児童が対象となっていることもあり、今後受け入れ希望があった場合は、慎重に検討し、受け入れ体制・事業所のあり方について模索してまいります。
	25	○		相談支援専門員や保護者様からの情報の共有に加え、必要に応じて、幼稚園、保育園への電話連絡や訪問をおこない、支援が途切れないよう、情報共有を行うと共通理解を図れるようにしております。	今後も関係機関と連携して情報提供と相互理解を図ってまいります。
	26	○		現在、相談支援専門員、保護者様からの情報の共有に加え、必要に応じて幼稚園、保育園との情報交換はできていますが、小学校、支援学校とは直接的な情報交換はできていません。	今後は関係機関と連絡を取り、直接的な情報交換の機会を設け、情報共有と相互理解を図ってまいります。
	27	○		事業所を併用している児童については担当者会議で情報共有に努め、相談支援専門員を通して共有を伝えるなど連携に努めております。	今後は積極的に関係機関の研修会の機会を逃さず参加して助言を受け、他事業所ともより密に連携取れるように努めてまいります。
	28	○		コロナの影響もあり事業所での交流機会はありませんでした。	保護者様のご意向を伺いながら、交流会への検討をおこなってまいります。
保護者への説明責任等	29	○		コロナの影響で参加機会はありませんでした。行政からの企画案内や、外部研修、助言をいただける機会があれば積極的に参加していきたいと思っております。	今後は積極的に関係機関の研修会の機会を逃さず参加して助言を受け、他事業所ともより密に連携取れるように努めてまいります。
	30	○		送迎時、連絡帳、家庭連携等を通し、情報共有、共通理解ができるように努めております。	今後も引き続き情報交換、共通理解をしていくように努めてまいります。
	31	○		事業所主催での大掛かりな企画は実施できていませんが、県内で開催されるペアレント・トレーニングの講座のご案内したり、参考になる図書を紹介できるようにしています。家庭連携にて保護者様からの相談に応じ、児童との関わり等への助言や支援に努めております。	これからも保護者様に寄り添った支援ができるよう、職員も合わせて勉強、研修機会を逃さず参加してまいります。職員間でもミーティングを実施し、より良い情報提供をしていけるよう知識や能力向上に努めてまいります。
	32	○		契約時に重要事項説明書、契約書を通し、丁寧に説明しております。	契約時のみならず、ご質問や再度説明のご要望があればいつでも対応させていただきます。今後もご理解頂けるよう丁寧な説明を心がけてまいります。
	33	○		ガイドラインが示す支援内容を踏まえ、保護者様のご意向や児童の課題に合わせた計画を作成し、保護者様へ詳しく説明を行ったうえで同意を得ております。	今後も児童の状況や保護者様のご意向に応じた計画を作成し、丁寧な説明に努めてまいります。
	34	○		送迎時や連絡帳のやりとり、家庭連携を通して保護者様からのお悩みや心配ごとについて伺い、気持ちに寄り添った助言やアドバイスができるように心がけております。	今後も保護者様が話しやすい雰囲気作りで努めてまいります。
	35	○		コロナ禍もあり現時点では保護者会の開催はできておりません。	コロナ感染症の事態の収束が見られた際には、保護者様のご意向に配慮しながら、保護者同士や、職員との交流を検討してまいります。
	36	○		苦情や申し入れの対応には苦情窓口を定め、迅速に対応出来るよう整備に努めており、保護者様にも契約時に説明させていただいております。苦情をいただいた場合には、全職員に周知し、ご意見と対応についての共通理解を図っています。	ご意見をいただいた場合には、苦情については真摯に受け止め、事実について丁寧に説明し、改善と環境整備に努めます。また解決に向け迅速でスムーズな対応を心掛け、保護者様との信頼関係の構築に努め、出来るだけ迅速な対応をおこない、問題解決を図ってまいります。
	37	○		公式 Web サイトのブログにて事業所の様子をお伝えしています。また年4回「COMPASS だより」を季刊発行しております。連絡帳で行事予定やお知らせ、毎月の様子を写真と共にわかりやすく事業所便りとして掲載、配布しております。	今後も継続して情報を発信し、保護者様へも目を通しやすく分かりやすい「お便り」の作成にも策定と努力してまいります。
	38	○		個人情報については鍵付きのキャビネットに保管しています。写真掲載や音声、動画撮影に関する個人情報についても必ず保護者様の同意を得ております。	今後も個人情報についての細心の注意を払い、取り扱い・保管に努めてまいります。
非常時等の対応	39	○		状況や特性に合わせたアイテムや、伝達方法を選択し、保護者様にも専門用語を避けたり分かりやすい説明や情報伝達を心がけております。利用児童や保護者様の支援に関する情報を全職員に周知し共有しております。	連絡帳に児童の様子を記入し、気軽に連絡が取りあえるよう、必要に応じてこちらからも電話で様子をお聞きする等、今後も状況に応じて配慮に努めてまいります。
	40	○		現時点では事業所行事に地域住民を招待する企画は行っていません。	現在は希望するリスクもあり、実施できておりませんが、事態の収束が見られた際には保護者様のご意向に配慮し、交流の機会を検討してまいります。
	41	○		各種マニュアルや対策は保護者様にご覧いただき、事前に保護者様よりご意見を伺い、全職員で周知徹底しております。	各種マニュアルは定期的に見直しを行い、現状に即したものとご意見・整備を行い、保護者様へもご覧いただけるようにご案内を継続してまいります。
	42	○		様々な災害の発生を想定して避難訓練は年間計画の元、参加する児童へ配慮しながら実施しております。	今後も非常時に備え、定期的に児童と一緒に避難訓練を実施していきます。保護者様には訓練時の様子をカレンダー裏面のお便りでもご報告し、より分かりやすくお知らせしていきます。
	43	○		事前のアセスメントで、保護者様に服薬や、発作等の状況確認は丁寧に聞き取りをしています。緊急時には最善の対応ができるよう全職員で共有しております。	今後も保護者様から詳細な情報収集を継続して、職員への周知と意識づけ、定期的な振り返りをおこなってまいります。
	44	○		現時点で医師の指示書が必要な児童はありますが、事前に保護者様より詳しく情報をいただき全職員で共有しております。	今後も保護者様から詳細な情報をいただき、全職員への周知を徹底し細心の注意を払ってまいります。
	45	○		ヒヤリハット報告書を作成し、事例はファイルで保管し、ヒヤリハット報告書を作成した時は全職員が内容を確認し、押印して再発防止に繋がっております。	今後も記録の徹底、情報の共有・認識一致のうえ、再発防止に向けて職員間で話し合い、その都度振り返りを心掛けてまいります。
	46	○		職員研修を年間計画に盛り込み、虐待防止に関する外部研修にも積極的に参加し、虐待を減らすこと意識して関わられるよう、職員間で話し合いを継続し、周知徹底してまいります。	今後も事業所内研修をはじめ、虐待に関する外部研修にも積極的に参加し、虐待を減らすこと意識して関わられるよう、職員間で話し合いを継続し、周知徹底してまいります。
	47	○		現在、身体拘束が必要だとと思われる児童の受け入れはありません。利用契約書には、身体拘束の禁止が記載されており、生命又は身体を保護するためにやむを得ず身体拘束をおこなう場合には、予め書面により保護者様の同意を得ることとしております。	今後も原則として「身体拘束を行わない基本姿勢」を遵守します。緊急時、または児童の命に関わる事象が起きる可能性がある場合の止むを得ない状況に限りおこなわれることを保護者様に十分説明を尽くし、同意を得て、個別支援計画にも記載してまいります。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。